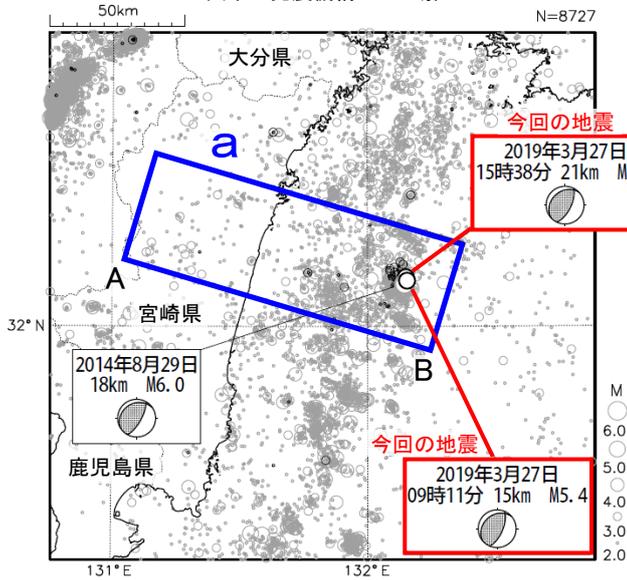
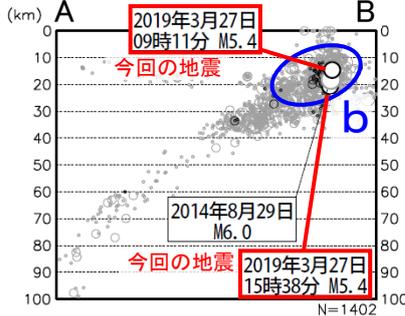


3月27日 日向灘の地震

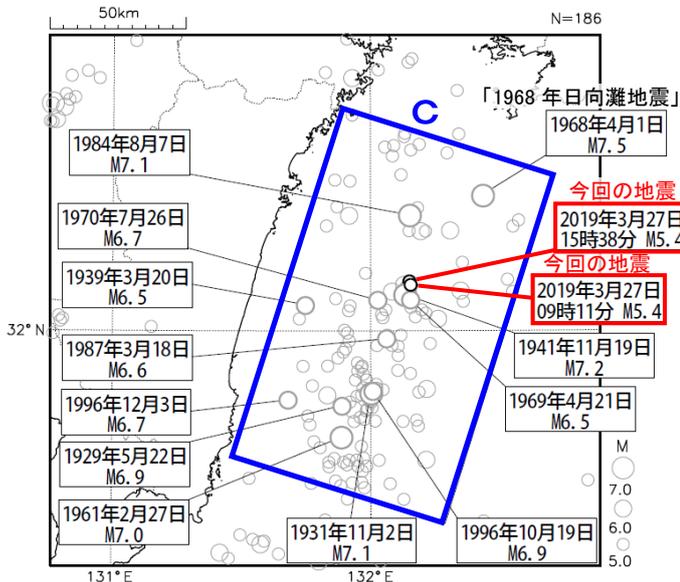
震央分布図
(1997年10月1日～2019年3月31日
深さ0～100km、M \geq 2.0)
2019年3月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1922年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～100km、M \geq 5.0)

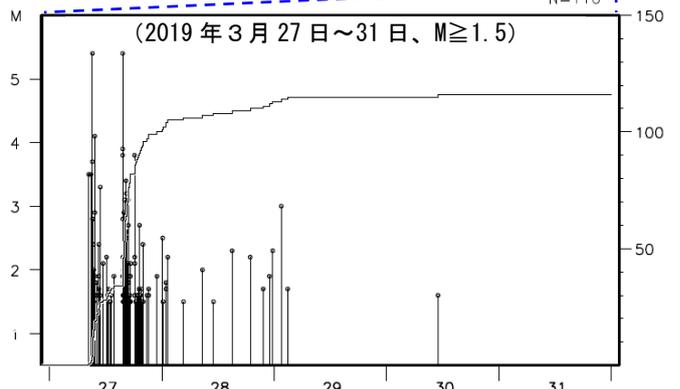
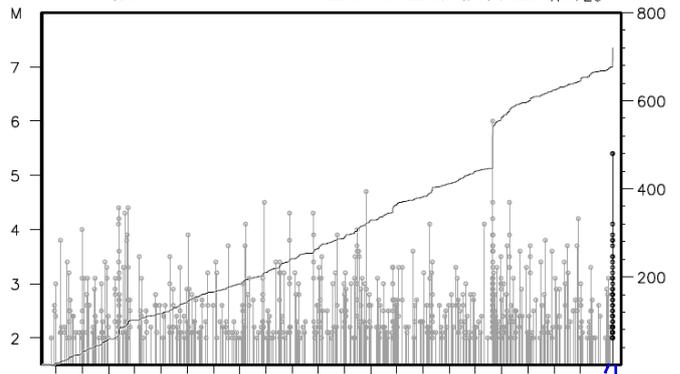


2019年3月27日09時11分に日向灘の深さ15kmでM5.4の地震 (最大震度3) が発生した。また、同日15時38分にその近傍でM5.4の地震 (最大震度4) が発生した。これらの地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) はM4.0以上の地震がしばしば発生するなど地震活動が活発な領域である。最近では、2014年8月29日にM6.0の地震 (最大震度4) が発生した。

1922年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震が時々発生している。近年では、1996年10月19日にM6.9の地震 (最大震度5弱)、同年12月3日にM6.7の地震 (最大震度5弱) が発生し、ともに最大で十数cmの津波を観測した。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

